

静岡県漁業協同組合連合会
1125 静岡市追手町 9-18
17.1.7 ☎ 054-254-6011
編集・発行 = 指導部漁政課

謹賀新年 今年も宜しく願い申し上げます。

1. 平成17年度水産予算概算決定額 対前年比3.3%減の2,742億円

平成17年度予算政府案が去る12月24日閣議決定し、水産関係予算は前年度に比べ3.3%減少の2,742億1,600万円で、このうち、非公共予算は929億円(前年比0.2%増)、公共予算は1,813億1,600万円(5.1%減)、災害復旧は11億9,600万円(43.8%増)となり、期待された中小漁業関連資金融通円滑化事業(2億5,400万円)、離島漁業集落活動支援交付金(17億4,000万円)はそれぞれ長官レベル、大臣レベルでの折衝で復活し確保されました。

17年度予算で水産庁は 元気が出る水産業の確立(経営支援協議会で経営のプロによる計画策定・指導等を行なう「中小漁業支援事業」が6,400万円、JFの体質強化では「漁業系統組織・事業改革促進事業」が1億1,200万円など) 「海の恵み」の持続的な利用(良好な漁場確保対策を総合的に推進すると共に、強い水産業づくり交付金の内数の「豊かな海づくり推進」、有明海の環境改善へ新たな実証試験を行う「有明海環境改善のための実証試験」が6億円など) 安全で安心な水産物の生産・供給(消費・安全局の防疫対策で輸入種苗のモニタリング強化などを行なう「養殖衛生対策センター事業」が1億600万円など) 多面的機能を発揮する水産業・漁村の支援(条件不利な離島漁業の再生を図る漁業集落の取り組みを交付金で支援する「離島漁業再生支援交付金」が17億4,000万円など) を重点事項に掲げました。

2. アワビの密漁対策にタグ(エコラベル)取り付け

南伊豆町漁協では、静岡県密漁防止対策協議会の協力を受け、去る12月24日生簀で蓄養されているアワビ200個のうち50個に、密漁防止用の識別タグ(エコラベル)を取り付ける作業を行ないました。この密漁防止タグの取り付けは県内では初めての試みで、全国でも広田湾漁協(岩手県陸前高田市)に次いで2番目となります。

タグは長い部分が2分の1の楕円形で、表面に漁協名と6桁の通し番号が記載され、再利用ができない工夫がしてあります。購入者が同漁協のホームページで番号を入力すれば、漁業者が採取した天然アワビであることが確認できます。

同漁協では、密漁被害が後を絶たないことや、市場に出回った後は密漁品かどうかの区別がつかないことなどから、タグの装着により密漁アワビの排除と、同町産アワビのブランド化にも繋がるとして、試験的に約3千個のアワビにタグを取り付けます。

3. DNAチップを用い魚病を迅速・正確に診断

(独)水産総合研究センター養殖研究所の病害防除部は、養殖の阻害要因となっている細菌性疾病を、DNAチップ(マイクロアレイ)を用いて迅速かつ高精度に診断する画期的な新技術を開発しました。チップは既に実際の診断現場で試用され、有効性を実証済みで、実用化されれば魚病被害の防除に大きく貢献すると期待されています。

魚病は養殖業の持続的発展の阻害要因となり、その被害額は年間100~200億円にものぼります。特に魚病の中での細菌性の疾病は種類が多く、商品サイズの大型魚にも被害が及ぶため、養殖業者を悩ませています。

研究チームは、魚介類の病原菌検出用のDNAチップを試作、これに病気に感染した魚から採取したDNAを載せて、病原体を検出するのに成功しました。

従来の培地を用いた病原菌の検出に比べ診断までの時間が大幅に短縮できるほか、一度に多くの病原菌を網羅的に検索できるなどの利点があります。現在のところ診断できる魚病は23種類に限られますが、今後増やしていく予定です。

また、この方法により今まで不明病で片付けられていた魚病が解明される可能性があり、同水研センターではこの診断方法について特許を申請しています。

養殖研究所病害防除部では農水省の農林水産技術会議が14年度から行なっている「先端技術を活用した農林水産研究高度化事業」の中で「マイクロアレイを使った魚介類疾病の迅速同定・診断・防除技術の開発」プロジェクトに取り組み、この新技術を開発したものです。

4. 水産海洋地域研究集会(水産海洋学会)開催のお知らせ

東海大学で、駿河湾周辺における水産資源の近年の動向と有効利用について、水産海洋地域研究集会が開催されます。

この研究集会では、トラフグ伊勢・三河湾系群の資源回復計画や、本年の駿河湾周辺における水産資源(特にサクラエビ・シラス)の動向について、4名の話題提供が行われるほか、地元漁業者等からの現況報告が行なわれます。

開催日時：平成17年1月15日 13時~ (参加費無料)

開催場所：東海大学海洋学部1号館2F大会議室

問合せ先：県漁連団体課(県ふぐ漁組合連合会) TEL：054-254-6548

5. 新刊図書紹介 「光る海、渚の暮らし」川口祐二著

本書は、著者が北海道から沖縄、そして対馬までいろいろな漁村を歩き、そこで暮らす人々からの聞き書きをもとにして、エッセイ風にまとめたものです。

本書に登場する、辺地の漁村に生きる漁師や女性たちが語る「昭和」の日々は、彼らのかげがえのない自分史のひとこまであり、また漁村の返還を浮き彫りにしています。著者の漁村に暮らす人々への思いが読者に率直に伝わる本です。

定価：2,100円(税込) 四六版245頁 問合せ先：(株)ドメス出版 TEL：03-3944-5651

6. 諸会議日程(1月11日(火)~1月24日(月))

1月11日(火) 県漁連 = 船舶職員養成講習会開講式 (県立漁業高等学園)

1月15日(土) 県ふぐ漁組合連合会 = 水産海洋地域研究集会 (東海大学海洋学部)

1月19日(水) 県遊漁船業協会 = 県遠征遊漁船協議会役員会 (県水産会館)

1月20日(木) 県漁連 = 理事会 (")

" 県信漁連 = 理事会 (")

" 県漁業振興基金 = 理事会 (")

" 水産会館内団体役員合同新年懇談会 (ブケ東海静岡)